

令和3年度 上半期事業報告

小牧市障害者自立支援協議会

相談支援

- 1 市内全体の相談支援体制の構築
- 2 相談支援専門員の質の向上
- 3 関係機関との連携

1 市内全体の相談支援体制の構築

定例会(毎月)

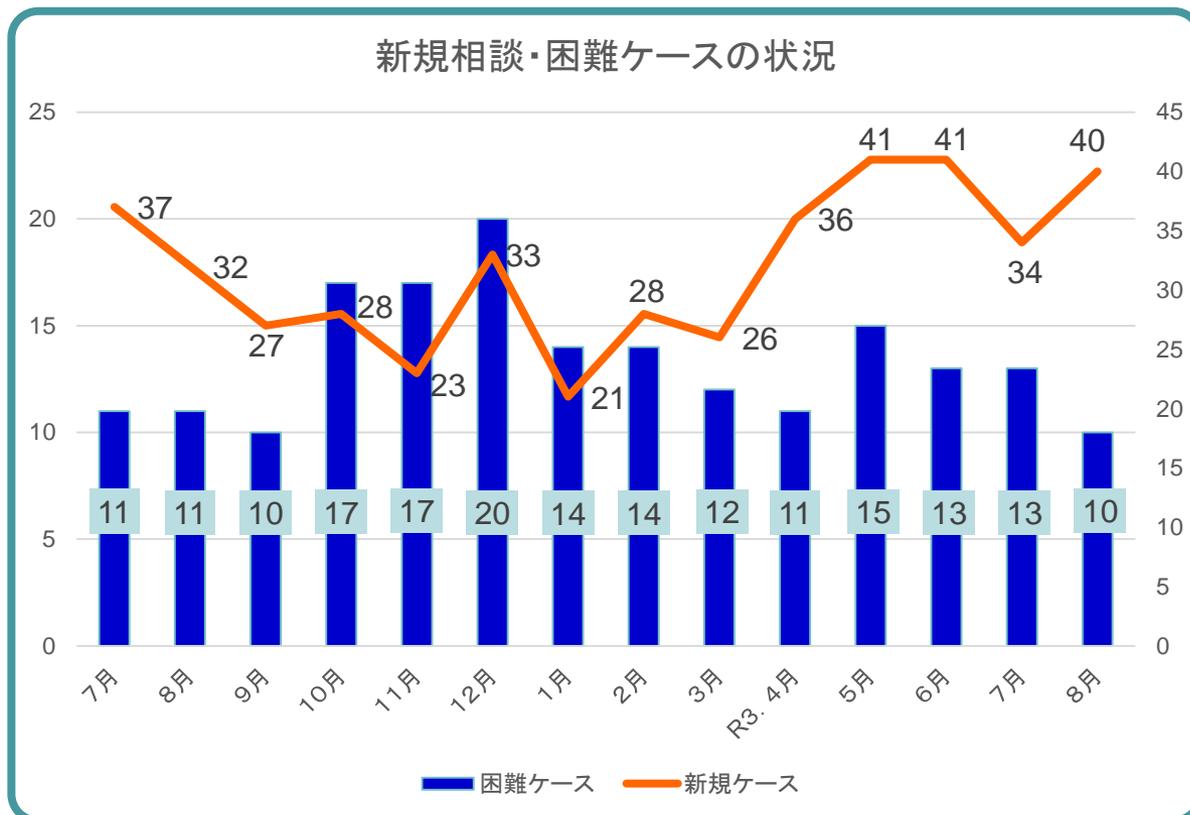
①新規相談の共有と全事業所での対応

相談支援連絡会でめざしていること

- ・新規や対応困難な相談に小牧全体で連携し対応する場
- ・地域生活課題を一堂で検討する場

②困難ケースの共有と継続支援 ・事例検討等

③各連絡会の情報共有と課題の検討



2 相談支援専門員の質の向上

演題 「精神障害の方への関わり方について」

日時: 6月15日(火) 13:30~15:00

講師: 舘 未輝子氏

(医療法人桜桂会 犬山病院 医療社会事業室 室長)

参加: 相談支援専門員等 15名

- 意見:
- ・精神障害というハードルが高い印象だったが、疾患の基本的な特徴から、留意点まで説明して頂き分かりやすかった。
 - ・病識欠如、未受診の方への対応を学べた。
 - ・一人での支援ではなく、関係機関が連携を取り、必要に応じて会議を開いたり、その方に対しての今後の方向制などを確認し合う場を設ける事も必要だと改めて感じた。

3 学校との連携（出前講座）

①出前講座：小牧特別支援学校 教員向け

日時：令和3年7月27日（火） 10:00～11:30

参加：16名（委託相談支援事業所相談員2名を派遣）

意見：



- ・計画相談と、一般相談の違いを知ることができた。
- ・卒業時に通っていたところに行けなくなった場合でも相談ができることが分かった。
- ・卒業後の通える事業所についてや、ショート先についての現状を知ることができた。
- ・困りごと、心配なご家庭があれば、相談支援事業所に繋げていけるようにしたい。

②出前講座：

一宮東特別支援学校 教員、保護者向け

日時：令和3年8月4日（水） 13:30～15:00

参加：34名（委託相談支援事業所相談員2名を派遣）



意見：

- ・手帳更新時、年金申請の際に診断書が必要となることや、かかりつけ医を見つけておくことよという事がわかった。
- ・各市町に相談事業所があることがわかった。
- ・進路先に福祉サービスがあることがわかった。
（生活介護、就労継続支援A, B型）

こども連絡会

- 1 切れ目のない支援体制づくり
- 2 サービスの質の向上
- 3 障がい児の受入れ促進

1 切れ目のない支援体制づくり



①保護者向け

進路先事業所紹介・相談会

日時：7月5日・6日

13:30～15:30

場所：ふれあいセンター

大会議室

参加：34名



日中・就労の6事業所
が説明

個別相談にも対応



意見：

- ・事業所の内容がよくわかった。他の事業所の話も聞きたい。
- ・開催後見学に行くことができ、進路の参考になった。
- ・年に複数回開催してほしい。

②特別支援学級教員の福祉サービス事業所見学会

日時：8月2日（月）～6日（金）

場所：市内放課後等デイサービス12事業所

参加：21名

意見



- ・事業所でどのように受け入れられているのか理解できた。
- ・放課後等デイサービスの対応を見ることができ、参考になった。
- ・支援員の目が行き届いており、子どもへの接し方、ルールを守らせる姿勢、対応方法を見ることができ、とても参考になった。
- ・学校だけでなく、事業所や地域の関わりもあることに安心した。
- ・学校と事業所の困りごとなどの共有ができ、今後連携が必要だと感じた。



こども連絡会

医療的ケア児等ネットワーク部会

1 医療的ケア児等の支援体制づくり

1 医療的ケア児等の支援体制づくり

小牧市で医療的ケア児者を支える仕組みを考える講演会

日時: 7月27日(火) 13:30~15:00

場所: ふれあいセンター大会議室・リモート

講師: 三浦 清邦先生

(愛知県医療療育総合センター中央病院 副院長)

参加: 74名(内リモート参加: 36名)

意見:

- ・支援体制やこれまでのあゆみ、現状が理解できた。
- ・親も自分に何ができるかを考える機会となった。
- ・家族だけで抱えていたが、家族のレスパイトを整えたり、地域でサポートしあえる仕組みが必要だと感じた。
- ・医療と福祉が連携できる仕組みが欠かせない。
- ・喀痰・吸引など、医療的ケアができる事業所が必要。

日中活動系連絡会

1 障がい者の居場所づくり

2 サービスの質の向上

1 障がい者の居場所づくり

①にじカフェ・プロジェクト

- ・障がい者や家族、事業所のスタッフの居場所やレスパイト的な活動づくりを進める
- ・場所：第1回目は本庄プラザのメンタルヘルスカフェ CAFÉ PRAZERを活用する。

②余暇活動

- ・楽しみづくりのきっかけとして、各事業所で余暇の時間に取り組んでいくことを呼びかけ
- ・デイサービスひかりでは音楽の時間に「パプリカ」を踊っている。

就労支援連絡会

- 1 事業所の質の向上
- 2 地域との交流、障がい者の社会参加

1 事業所の質の向上

就労支援・就労定着の関わり方研修会(リモート)

日時:6月30日(水)15:00~16:30

講師:中島 将登氏(一般社団法人 あいち福祉振興会)

参加:21名

意見:

- ・就労支援の事例を踏まえて聞くことで、利用者への具体的な働きかけ方がとても参考になった。
- ・個別性を理解し、対応を考えていく必要性を改めて考える機会になった。
- ・就労支援から定着の加算がない期間のフォローや関わりに課題を感じていたので参考になった。
- ・一般就労になかなか定着できない方の関りや、一般就労までの道筋など、他機関とのつながりもとても大切だと感じた。

2 地域との交流、障がい者の社会参加

ふれあい・いきいきサロンの勉強会

日時: 7月28日(水) 15:00~16:30

参加: 8名

内容: 現行のサロンの状況について、地域支え合い推進員から情報提供
今後、サロンでの物販や交流につなげる。

その他

- 1 福祉人材の確保
- 2 移動販売

1 福祉人材の確保

①福祉就職フェアの開催

日時：令和4年2月を予定
リモート主体形式

②求人サイトの活用

- ・10月に求人情報の更新
 - ・登録事業者数28件
 - ・PRの促進
- 社協だよりへの掲載



大好評!!

小牧福祉事業所就職求人サイト

地元の企業が
あなたも待っている!

小牧 × 福祉
求人情報

小牧 × 福祉
求人サイト

お問い合わせ
相談支援課 ☎68 - 6870
(平日：午前9時～午後5時)
URL:<http://komaki-work.com/>
アドレスまたはQRコードからアクセスいただけます!



2 移動販売（ハートランド小牧の杜）



日時:5月6日(木)～月2回

協力:ローソン100小牧岩崎西店

- ・移動販売車の来訪により、利用者自らが品物を見定めて決定し、お金を支払う一連の買い物の流れを作れた。
- ・支援者側としても金銭にまつわるトラブルの解消と業務のスリム化を図ることができた。
- ・ご近所の野口区の方々も買い物に来ます。